

令和6年度 第2回戸倉公民館運営審議会会議録

日時 令和7年2月20日
午後1時30分から2時30分
場所 戸倉創造館 国際交流室

1. 開会（審議委員 10名中 8名出席、欠席 2名）
2. あいさつ 荒井館長
3. 協議事項（議長は千曲市公民館条例施行規則第3条に拠り、島谷会長が務める）
 - (1) 令和6年度事業報告について（資料に基づき事務局より説明。承認）
 - (2) 令和7年度事業計画について（資料に基づき事務局より説明。承認）

※主な質問及び意見は以下のとおり。

委員から出された主な質問及び意見	市(事務局)の説明及び回答
令和6年度事業報告について ○ハイキングについて。4月の公運審で発言させていただいたが、関心を高める工夫が必要だと思う。 ○マレットゴルフ大会について。 マレットゴルフ協会と打合せは十分に行ったのか。選手として参加したが、分館対抗マレットゴルフ大会は、普通の競技時と違って一斉スタートだったのに、全員がスタート位置につく前に競技開始になってしまった。結果として前の組を追い越してしまうことになった。実際の大会ではペナルティがついてしまう状態だった（本来のルールに沿うやり方ではなかった）ので、競技団体と打合せが必要だと思う。 参加者240名とあるが、炎天下の中だと120名が限界だと思う。 マレットゴルフ大会を行ったことは有意義なことだと思うし、私もできれば参加したい。改善すべき点、危険を避けるようなやり方、本来のルールにそったやり方でやるようなためには、公民館側も協議を知ってもらいたい。 ○マレットゴルフ大会について。マレットゴルフのルールの講習会を開催してはどうか。当日は審判を務めたため競技に参加できなかった人もいる。ル	○来年度は過去に人気のあったコースで検討している。 ○マレットゴルフ協会長とは何度も打合せをしたが、スムーズにいかなかった部分もあった。マレットゴルフ人口の裾野を広げたいという思惑もあり、今年度は経験者を必ず4人のうちの1人入れて、女性も1人入れてという細かい決まりを作った。来年度は、ルールを緩和をしたいと思っている。 組合せについても、チームのリーダーの決め方、スタートのやり方など協会と相談をして決めたい。改善すべき事項を十分承知したつもりでいるので、気をつけて来年度開催をしたいというふうに思っている。 ○講習会などを開催し、基本ルールに詳しい人を育成していくことも検討したい。

ールに詳しい人がいれば参加者も増えると思う。 令和7年度事業計画について ○行事（大会）の人集めと分館役員研修について。 人集めに分館ごと温度差がある。一生懸命動員かけていると思うが、動員そのものが大変のため、(大会には) 役員だけ出ればいいというケースがあると思う。動員が大変だったり参加する人がいなかったりするため役員で参加する分館もあるし、抽選しないと出れない分館もある。自分が住んでいる場所の分館からは、動員の声がかからず、本当に動員活動しているのかという疑問に感じるところもある。分館役員研修会などで行事の趣旨など再認識するようなことがあったらいいと思う。 ○民間企業、関係団体との連携について。 市内6館ある公民館が個別に事業をするのではなく、6館一堂に会して展覧会をするなど工夫されてはどうか。 また、上田市ではサークルの作品をイオンに展示し多くの人に見てもらうなど、民間企業と連携して事業を行っている。 ひとつの公民館だけで事業をやる時代ではなくなった。戸倉公民館も市内公民館、民間企業、関連団体と連携しながら事業を行うことも視野に入れて欲しい。	○事業ごとにアンケートを実施するが、ご指摘のとおり分館ごとに温度差がある。単純に人集めが「難しい」「できない」ではなく、「どうすればできるのか」ということを模索しながら、分館長さんや役員さんとも話ができたらいいなと思っている。例えば、人集めが上手くできている分館を参考にするなどして勉強していきたい。 ○6館との連携について。成人講座では6館の間で先生が同じ講座がいくつかある。高齢化が進み参加者が減少するなかで、重複しているものは一つに集約したり、合同開催も検討していかなければならないと感じている。 そのため、戸倉公民館の実績発表会と戸倉芸文協の文化祭の合同開催を検討してまいりたい。
---	---

7. その他

8. 閉会

出席者：島谷正行、宮入秀二、濱田政常、小松いずみ、宮澤香二、赤塩曜子、相沢俊夫、
 兒玉淳子、兒玉みどり、(欠席：赤塩曜子、竹澤秀治)

事務局：戸倉公民館長兼戸倉公民館業務係長 荒井茂夫、戸倉公民館主事 柄沢希実